

2026年のワークショップの内容

第2回「尾形亀之助の短詩を選んで印刷し、和綴本をつくる」、第3回「名刺をつくる」及び第5回「メッセージカードづくり」は、事前につくりたいイメージを考えていただきます。各回の申し込み締め切りは開催日の1週間前です。

第1回 2026年4月3日（金曜日） AM10:00 - PM3:00

「栞をつくる」 初めての人でも簡単に楽しく活版印刷を体験することができます。

花形活字（紋様や絵柄を印刷する活字）や約物活字（句読点やアスタリスクなどの記号）を自由に並べていろんな紙に印刷をして栞を作ります。活字の大きさは主に五号（10.5ポイント）活字を使います。参加費 2,000円



第4回 2026年10月2日（金曜日） AM10:00 - PM3:00

「木活字で遊ぶ」 黒光りする木活字のかっこよさにうっとりします。

フランスからやってきたアルファベットの木活字（縦3センチ程度の大きさ）を並べてA4の用紙に印刷をします。ことばとして並べてもいいですし、図形としてタイポグラフィの表現として並べても楽しいです。ただし、アルファベットは揃っていない文字があります。参加費 2,000円

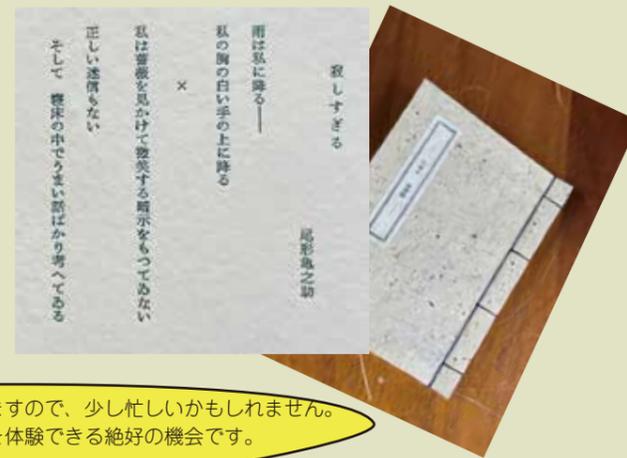


第2回 2026年6月5日（金曜日） AM10:00 - PM3:00

「尾形亀之助の短詩を組んで印刷し、和綴本をつくる」

宮城県出身で大正時代から昭和初期に活躍した詩人尾形亀之助の短い詩を選び、活字を組んで和紙に印刷をします。最後に、和紙を袋綴じにして、和綴本をつくります。少し作業が多いですが、事前に詩を選んでいただいたりして時間内に終わらせたいと思います。

参加費（2,000円）以外に材料費 1,500円追加の負担があります。



たくさんの方を1日で行いますので、少し忙しいかもしれませんが、でも、一度に活版印刷と製本を体験できる絶好の機会です。

第5回 2026年12月4日（金曜日） AM10:00 - PM3:00

「メッセージカードづくり」

伝えたい文字や絵を印刷をしてメッセージカードをつくります。年賀状でも、クリスマスカードでもいいですし、好きな言葉をカードにしても構いません。絵は凸版を製版し、活版印刷の印刷機で印刷をします。

参加費（2,000円）以外に材料費 1,500円の負担があります。

※凸版を製作費する方はさらに 2,000円程度の製版費用をご負担いただきます。

相談しながら楽しいカードをつくりましょう



第3回 2026年8月7日（金曜日） AM10:00 - PM3:00

「名刺をつくる」 活版印刷の十八番。違う大きさの活字を組んで一つの版を作ります。ちょっと難しいですが、要相談でマークや絵を入れたりもできます。

正楷書の書体の活字を使って名刺を作ります。肩書は五号（10.5ポイント）活字、名前は18ポイント活字、住所、電話番号、メールアドレスなどは8ポイント活字を用いて、ステッキという道具を使って名刺をつくります。名刺用紙にお一人20枚作ります。

参加費（2,000円）以外に材料費 1,500円追加の負担があります。

